

# かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2024年新年号 Vol.66



## 辰年謹迎

新たに迎える年に、  
皆さまのご健康と  
ご多幸を、心より  
お祈りいたします。

私たちの日々の施業に  
なくてはならない林業用重機は、  
きつと、もつと進化していく。  
木材の新たな価値創造が、  
仕事の現場を変えていける。

力強く、繊細に。  
林業の現場は、  
はたらく機械が  
大活躍している。



## 榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 34

### 「組織力向上研修(実践編)成果報告会を終えて

新年明けましておめでとうございます。昨年中は組合員の方々、関係各位の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。本年は辰年、辰(竜)は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。

先月の12月16日、昨年4月より取り組んできた組織力向上研修(実践編)の成果報告会を掛川グランドホテルにて行いました。以前のもりもり通信にてご紹介しましたが、業務提携研究会により業務提携の在り方について研究を深めていくと「組合員サービスの向上」には組合職員のレベルUPが重要であり、そのための組織規模・体制を築いて社会ニーズの変容に柔軟に対応していく必要があることを再認識しました。しかし、両組合の仕事の進め方や考え方には違いがあり、急速な組織統合により生じる摩擦を最小限にするには、組織統合しても職員の業務執行には支障がないことを確認する「組織力向上研修(実践編)」という課程を踏んだ方がいいという判断のもと行ったものです。

成果報告会では5つのチーム(総務経理共通化チーム、施工管理共通化チーム、組織マネジメント共通化チーム、共同運行トラック導入チーム、共同施業チーム)が通常業務を遂行しつつ、毎月1回外部講師を招いての合計7回の集合研修を受講。と同時に、それぞれの組合を何度も行き来しながらチーム内で協議を重ね、発表資料を作成して成果を報告しました。それぞれの発表の内容・感想は紙面の都合上控えませんが、端的には、全ての発表は極めて前向きな内容ばかりでした。それぞれの組合に差異はあるにせよ、組織力向上研修(実践編)を通して職員間の相互理解は確実に深まり、レベルUPにつながることを実感できる、有意義な報告会となりました。

この成果報告会を踏まえ、本年の業務提携研究会ではお互いの職員同士が自信と納得感を得られる組織統合の在り方・方向性を判断して参りたいと思います。今後とも組合員の方々ははじめ、関係各所の皆様のご指導・ご協力を賜りますことをお願いし、年頭の挨拶といたします。

## 「これいい!」購買担当「リエさん」のオススメGOODS!!

しいたけ種駒 にく丸

- 1,000ヶ入 ¥4,565 (税込)
- 500ヶ入 ¥2,530 (税込)

なめこやひらたけなど  
他の品種はご予約ください  
(3/10まで)



STIHL木製3Dパズル ¥1,980 (税込)

木製の本格的ミニチェンソーが作れます!  
ギフトにも!

新商品



完成サイズ25×7.5×9cm



購買よりお知らせ

春植え山行苗木(スギ・ヒノキ・コナラ・クスギ)の注文を受付しております。  
配布時期は3月中旬を予定しております。購入希望の方はお早目にご連絡ください。



KAKEGAWA  
Forest Owner's Cooperative

発行元

## 掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1  
TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113  
<https://www.kakemori.jp>



# かけがわインタビュー 15 重機の力を最大限に発揮させるには 操作技術に加えて、メンテナンス技術がとても重要です

森林の施業になくはならない重機を扱う中遠機械株式会社さん。  
今回は小谷代表取締役と吉野部長にお話しを伺いました。  
世界と比較する中で、日本における林業と重機の現状が見えてきました。

**伊達**…森林整備を進め、効率よく木材を搬出するためには、林業用重機の力が不可欠です。中遠機械さんにはこれらの機械のメンテナンスで日ごろから大変お世話になってます。また10月には4tフォワーダ(丸太搬出用重機)を購入させていただきました。今後現場での活躍が期待されます。

小谷…この度はありがとうございます。地域で森林整備に「機械」という点で参画できることをうれしく思っています。当社は文字通り中遠地域で主に建設機械や資材関係を扱う会社ですが、森林組合さんのお取引を中心に林業用重機も取り扱いはしております。

本の方が2倍広い。しかし木材生産量ではドイツが2倍多い。林業・木材産業を国の主産業と位置付けているようです。その中で林業用重機の仕様も日本とはだいぶ異なっているようです。そもそも日本と欧州では林業用重機のルーツに違いがあることをご存じですか？日本では建設機械がルーツになっているのに対して、欧州では農業用重機がルーツになっています。



導入した集材用フォークダの活用状況を確認

**伊達**…確かに私たちが使っている機械は、建設用重機に、林業用アタッチメントをつける仕組みが主です。海外の林業用重機はトラクターがベースで見た目から全く違いますね。

重機もさらに発展していくはず。今後には期待したいです。吉野…一方で、最近土木や建設用重機のICT化が急速に進んでいます。デジタル化された設計図をもとに、機械が位置情報を正確に把握し、操作をアシストしてくれそうです。オペレーターに高



施業現場を見て歩いていただきました

本と異なっているようです。尾崎…国内の林業用重機の発展が海外より遅れたのは、国内の森林資源を育成している間、長く外国の丸太を輸入していた時代背景もあるのかもしれない。それでもここ20年、国内には多くの林業用重機が普及し、国産材自給率も回復してきました。

い操作技術が必要ない場面も出てきています。ただし、これは平らに造成された現場での話。森林組合さんの森林の現場では、地形や地質、木の様子が現場ごとに全く違いますからICTに置き換えていく。オペレーターさん自身の技術とセンス、経験が求められますね。一方私たちの機械メンテナンス技術も似たようなことが言えます。診断機が発達してきてはいるものの、不具合の原因を見つけて出すには長年の経験と勘、技術が重要なのです。

中遠機械株式会社 代表取締役会長 小谷 幸一さん  
サービス部 部長 吉野 宏哉さん  
聞き手:尾崎・伊達(編集委員)

## コラム・美林掛川へ 広がるFSC® 森林認証と、気持ちの良い森林づくり 流通販売課

当組合では平成29年から森町森林組合、掛川市、森町、静岡県と協力してFSC® 森林認証を取得しています。組合員様方のご理解とご協力もあり、当初は1、110haだった認証証林の面積はグループ全体で2,718haまで拡大し、年間で4,000~5,000㎡ほどのFSC材を出荷できるようにになりました。

最近ではあちこちでFSCマーク目にするようになり、マークの認知度も徐々に向上してきています。本号に「第3回見つけようFSC®マーク」イベントのチラシを同封しています。マークを見つけて景品を当てましょう！

少しおさらいをしますと、FSCは森林管理が環境や社会に配慮して適切に行われているか、また経済的に継続可能であるかを、国際機関「FSC Forest Stewardship Council®」(森林管理協議会)の基準に基づいて第三者機関



手に取ることで森林管理を応援できるFSCマーク

が審査し、合格した森林や木材に認証を与える国際的な認証制度です。この「環境・社会・経済」というキーワードはSDGsとも通ずるところがあります。SDGsには17の目標と169項目のターゲットが定められていますが、FSCは14の目標と40項目のターゲットに対して貢献しています。社会全体がSDGsを推進する中でFSCを選択することが増えるのは、ごく自然な流れと言えるでしょう。FSC製品はさまざまな紙製品が多いですが、建材や家具材として求められるような流れも少なからず出てくると思われます。

国際基準を支えているのは地域的な森林管理です。私たち山側としては、FSCの原則に則った森林管理を通じて、気持ちの良い掛川の山々を生みだしつつ、FSC材が提供できる体制を整えておきたいところです。

10月から始まった2023年秋シーズンの「森林プロフェッショナルとEIMTBで行く掛川フォレストツアー」が各回とも満員御礼にて終了しました。他に実施したオーガナイザーと合わせて、今シーズンの参加者は57名でした。ご協力いただいた地域の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。2024年春ツアーも実施予定です。どうぞよろしくお願致します。

## お知らせ 2023年秋シーズンのEIMTBツアー満員御礼!



10月から始まった2023年秋シーズンの「森林プロフェッショナルとEIMTBで行く掛川フォレストツアー」が各回とも満員御礼にて終了しました。他に実施したオーガナイザーと合わせて、今シーズンの参加者は57名でした。ご協力いただいた地域の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。2024年春ツアーも実施予定です。どうぞよろしくお願致します。

## 花粉症対策！スギ花粉採取事業を開始

国民病と言われる「スギ花粉症」。政府は令和5年5月にスギ花粉症対策を閣議決定し、3本柱(発生源対策、飛散対策、発症暴露対策)の対策がスタートしました。今回は、発症・暴露対策の一環としてスギ花粉の採取事業に取り組みことになりました。スギ花粉は有効な林産物の一つとなり得るのか、森林・林業地域経済に資することができるのか、掛川市森林組合の新たな挑戦が始まります。

## 山の神様を祀り、安全を祈願する「山の講」。

安全祈願の神事は前日に龍尾神社さんに行っていたが、11月7日は、視察研修で富士森林組合と浅間大社・富士山世界遺産センターを訪れてきました。気持ち新たに、1年間、安全作業に努めてまいります。午前は富士森林組合へ。更新伐を広範囲で行っている箇所があり、その団地の説明をしていただきました。職員から多数の質問があり、有意義な時間となりました。午後は浅間神社にお参りをした後、富士山世界遺産センターを見学しました。

